

■コメント

1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり報告数は3.21人と増加し、例年同時期と比較して多い状態が続いており、注意が必要です。

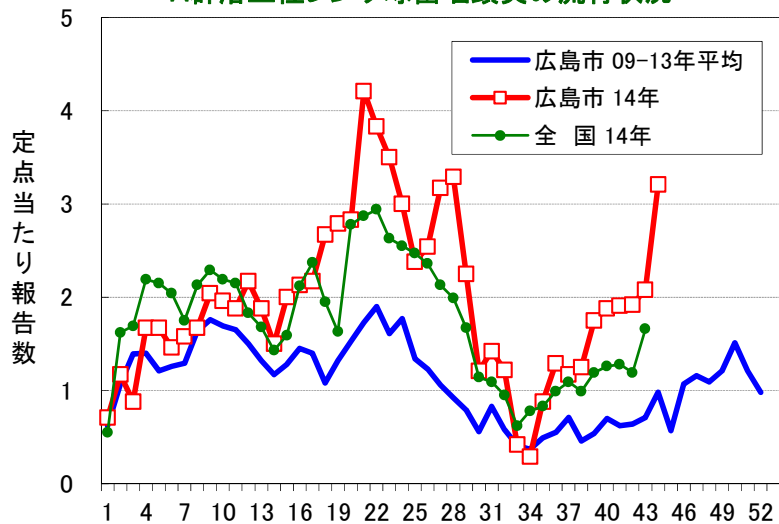
患者との接触による感染を予防するため、マスクの着用や手洗い・うがいの励行に努めましょう。

2. インフルエンザ

市内の定点医療機関から11人(定点当たり0.30人、迅速診断キット:A型陽性1人、B型陽性10人)の報告があり、2週続けて増加しています。

インフルエンザの流行時期が近づいてきました。予防接種は流行前に受けるのが効果的です。また、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



週

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	11	0.30	6.96		小児科	流行性耳下腺炎	31	1.29	0.47	▲
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.27		眼科	RSウイルス感染症	32	1.33	0.50	▲
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	77	3.21	0.98	▲	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
	感染性胃腸炎	95	3.96	3.58	▲	眼科	流行性角結膜炎	8	1.00	0.60	
	水痘	14	0.58	1.07		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	21	0.88	0.36	▲	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	-	-	0.11		基幹	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.69	
	突発性発しん	15	0.63	0.54		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	1	0.04	0.18		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.04							

急増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	▲	▲	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	154	男性(40歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	8	男性(10歳代)・O157
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	女性(70歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	8	男性(70歳代)
5	風しん	1	2	男性(30歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第40週	1	9	45	64	16	24	-	12	-	3	19	42	1	13	-	-	-	-	-
		第41週	-	7	44	69	14	17	-	11	1	4	18	18	-	6	-	-	-	-	-
		第42週	1	5	46	73	13	6	-	12	1	4	25	31	-	6	-	-	-	-	-
		第43週	6	5	50	91	11	14	-	23	-	5	20	27	-	6	-	1	1	-	-
		第44週	11	3	77	95	14	21	-	15	1	3	31	32	1	8	-	-	1	-	-
定点 当たり	広島市	第40週	0.03	0.38	1.88	2.67	0.67	1.00	-	0.50	-	0.13	0.79	1.75	0.13	1.63	-	-	-	-	-
		第41週	-	0.30	1.91	3.00	0.61	0.74	-	0.48	0.04	0.17	0.78	0.78	-	0.75	-	-	-	-	-
		第42週	0.03	0.21	1.92	3.04	0.54	0.25	-	0.50	0.04	0.17	1.04	1.29	-	0.75	-	-	-	-	-
		第43週	0.16	0.21	2.08	3.79	0.46	0.58	-	0.96	-	0.21	0.83	1.13	-	0.75	-	0.14	0.14	-	-
		第44週	0.30	0.13	3.21	3.96	0.58	0.88	-	0.63	0.04	0.13	1.29	1.33	0.13	1.00	-	-	0.14	-	-
	全国	第42週	0.04	0.25	1.19	2.98	0.63	0.59	0.14	0.53	0.01	0.23	0.28	0.82	0.01	0.52	0.03	0.02	0.29	0.01	0.01
		第43週	0.07	0.30	1.66	3.62	0.76	0.60	0.19	0.57	0.02	0.18	0.30	0.86	-	0.48	0.01	0.05	0.32	0.01	-

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
急性脳炎	発熱(38.0) 脳炎 脳症 意識障害 熱性痙攣	15	男	2014/09/16	咽頭拭い液	EBウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう！

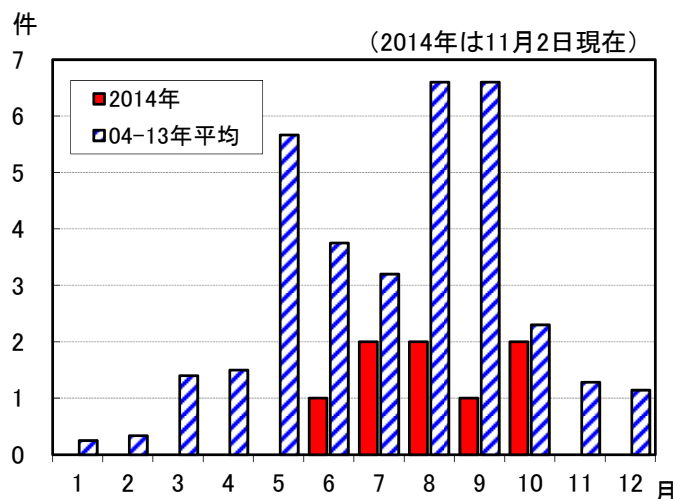
腸管出血性大腸菌は、経口感染がほとんどで、汚染された食品を食べたり、患者や保菌者の汚染された手指を通して感染します。熱には弱いですが、感染力が強くわずか数十個でも感染すると考えられています。特に子どもと高齢者は重症化しやすいため、徹底した感染予防が重要となります。

予防のために次のことに特に注意しましょう。

- 手洗いを励行しましょう。
- 肉・レバーなどは十分加熱し、生食は控えましょう。
- 食品は衛生的に取り扱い、調理器具はよく消毒しましょう。
- 乳幼児や高齢者のオムツの取り扱いには十分注意しましょう。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)

(2014年は11月2日現在)



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2014年第44週(10月27日～11月2日)